# 堺市民会館建替事業
# 新施設基本設計報告会

平成26年10月11日(土)

13:30～15:30

堺市　文化課

# これまでの取り組み経過

| 年 | 時期 | 内容 |
|---|---|---|
| （H23年） | （6月） | 市民アンケート調査 |
| | （7～8月） | ワークショップ |
| （H24年） | （1～7月） | 堺市民会館整備計画検討懇話会 |
| | （11月） | 堺市民会館整備計画（案）策定・公表 |
| （H25年） | （12～1月） | パブリックコメントの実施 |
| | （6月） | 堺市民会館整備計画策定 |
| | （8月） | 基本設計業務プロポーザルの公告 |
| | （12月） | 基本設計業務の受託者を決定 |
| | | 基本設計協議スタート |
| （H26年） | （9月末） | 基本設計業務完了 |

# 建設場所

所在地：堺市堺区翁橋町2丁　　敷地面積：14,823.43㎡（公用車駐車場敷地を含む）

# 旧施設の外観（国道３１０号側から）

# 公用車駐車場（敷地南東側）

# 翁橋公園（敷地東側）

# 都市計画公園予定地（敷地北東側）

（翁橋駐車場）

# 敷地内のモニュメント及び植栽の活用

〇活用可能なモニュメントは、敷地内又は他施設等に移設

〇植栽の位置や状態等に応じて、敷地内又は他施設等で活用

※現施設西側の植栽は、解体工事の足場を設置するため除却

# 新しい施設像及び整備に係る基本的な考え方

## 新しい施設像

**堺らしい新たな文化を創造し、南大阪における文化芸術の創造・交流・発信の拠点施設**

### ①機能性を重視した施設

◆優れた舞台芸術をはじめ多彩な公演が可能
◆公演の採算性や収益性の確保

### ②課題解決と市民ニーズへの対応

◆観客や出演者など全ての利用者が使いやすい施設構造
◆バリアフリー対応、ホワイエ・トイレ等の充実

### ③堺らしさを感じる自主事業の拡充

◆堺への誇りと愛着を醸成する場
◆子どもたちの文化芸術体験の場

### ④中心市街地の活性化への寄与

◆まちの賑わいにつながる連携
◆魅力あるアクセスルートの整備

# 事業方針

（1）優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供
（2）堺らしい文化芸術を創造し、都市魅力を発信
（3）多様な文化芸術の交流・普及を促進

## 鑑賞事業

・オーケストラ、オペラ、バレエ、古典芸能、ミュージカル、演劇、ポップス等

## 創造・発表事業

・大阪交響楽団、堺シティオペラ、野間バレエ団等との連携

・市民が日頃の活動成果を発表する檜舞台として整備（発表会、コンクール、フェスティバル等）

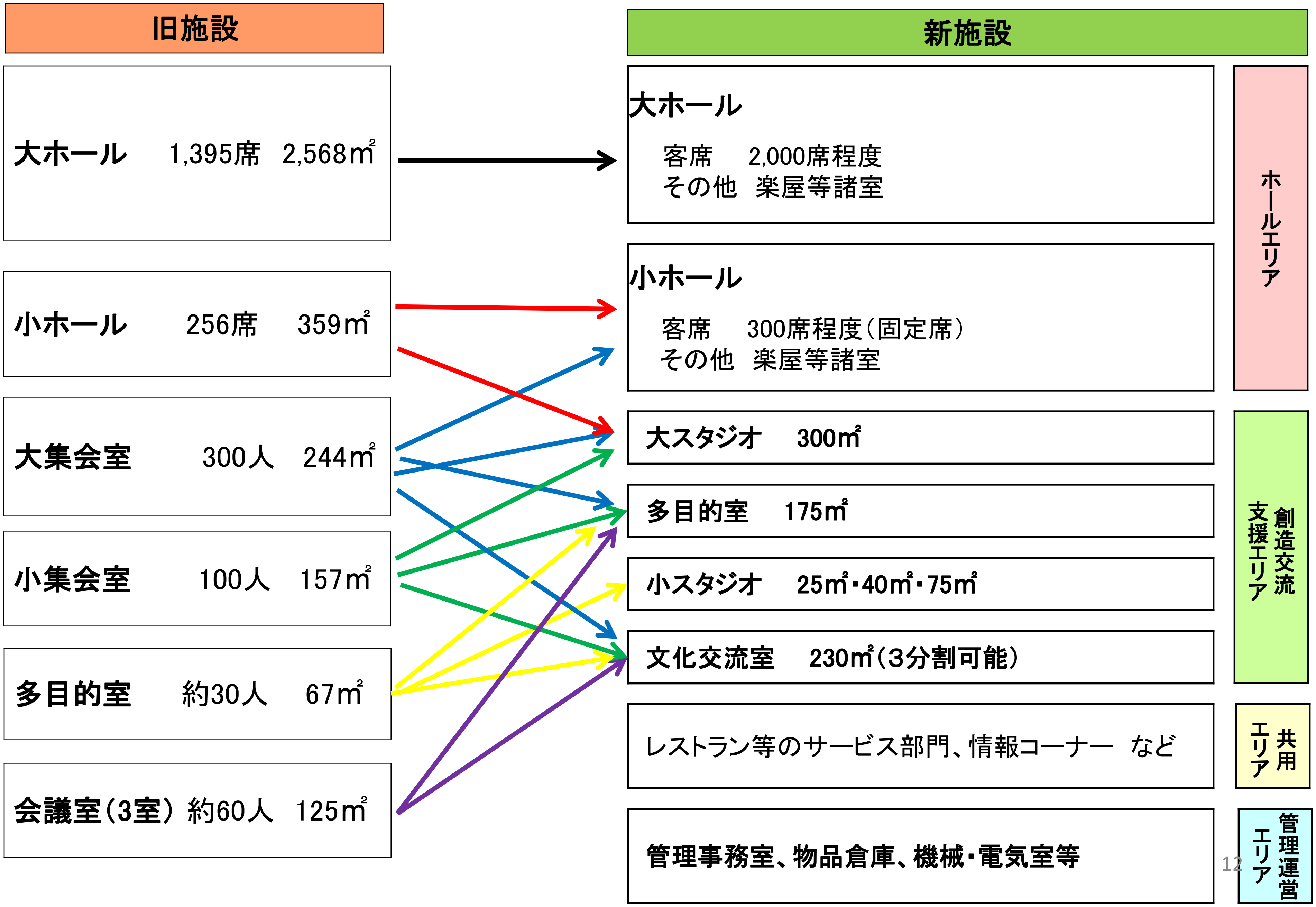
## 普及・育成事業

・子どもたちが幼少期から優れた舞台芸術に触れる機会の充実（小学校などへのアウトリーチ等）
・ファミリーコンサートやワンコインコンサートの開催

# 主な施設内容

| 区　分 | 用　　途 | 主な施設内容 |
|---|---|---|
| ホールエリア | 優れた舞台芸術や多彩な公演、発表会など | 大ホール<br>客席：2，000席程度<br>舞台：舞台機能等を充実させた舞台規模を確保 |
| | 室内楽コンサート、市民の多様な舞台芸術の発表会、集会など | 小ホール<br>客席：300席程度<br>舞台：ワンボックスタイプ |
| 交流・創造支援エリア | 日常的な練習、小規模な発表会や集会など | 大スタジオ、多目的室、小スタジオ、文化交流室 |
| 共用エリア | ロビー、レストラン等などで構成する利用者の共用空間 | エントランスロビー、駐車場、駐輪場、レストラン等のサービス部門、情報コーナー |
| 管理運営エリア | 事務室、機械・電気室、警備員室等で構成する施設管理のための空間 | 管理事務室、物品倉庫、機械・電気室等 |

# 施設内の新旧比較


旧施設
大ホール　1,395席　2,568㎡
小ホール　256席　359㎡
大集会室　300人　244㎡
小集会室　100人　157㎡
多目的室　約30人　67㎡
会議室（3室）約60人　125㎡
新施設
大ホール
客席　2,000席程度
その他　楽屋等諸室
小ホール
客席　300席程度（固定席）
その他　楽屋等諸室
大スタジオ　300㎡
多目的室　175㎡
小スタジオ　25㎡・40㎡・75㎡
文化交流室　230㎡（3分割可能）
レストラン等のサービス部門、情報コーナー　など
管理事務室、物品倉庫、機械・電気室等
ホールエリア
創造交流支援エリア
共用エリア
管理運営エリア

# ホール規模の考え方

## 大ホール２，０００席程度

〇旧市民会館の大ホール１，３９５席では、公演にかかる費用とチケット収入等との採算が合わないため、魅力的な公演を行うことが困難。

〇新施設では2，000席程度の客席数を有することで、公演の採算性が向上し、公演の誘致競争力が確保され、公演の誘致の面からも有利になる。

## 小ホール３００席程度

〇旧市民会館の小ホール客席数（256席）は、他市事例や専門家等の意見において、市民の多様な文化芸術活動の場として使い勝手が良い規模と言われており、舞台の広さをはじめ使い勝手の面が解消されれば、より多くの利用が見込まれる。

〇室内楽コンサートから小規模な演劇、舞踊など幅広い公演が可能な同規模のホールが市内にない。

## その他

〇中規模のホールは、栂文化会館（７１４席）、西文化会館（５４５席）、ソフィア堺（７９８席）など市内にすでに整備している。

# 施設配置の考え方

## 1. これまでの課題解決 （来場者視点◆・演者視点◇）

◆南側にあった正面入口は、堺東駅方面からの動線では回り込む必要があり、より遠く感じた。

◇北側にあった搬入口は、前面道路が狭く、11トン車などの大型車両の出入りに難があった。

◇北側には一般駐車場の出口があり、かつ翁橋3号線に近かったため、大きな公演終了時には駐車場から出れないなど渋滞が発生することがあった。

## 2. 整備計画上の施設配置の留意点など （来場者視点◆・演者視点◇）

◆歩行者の安全確保

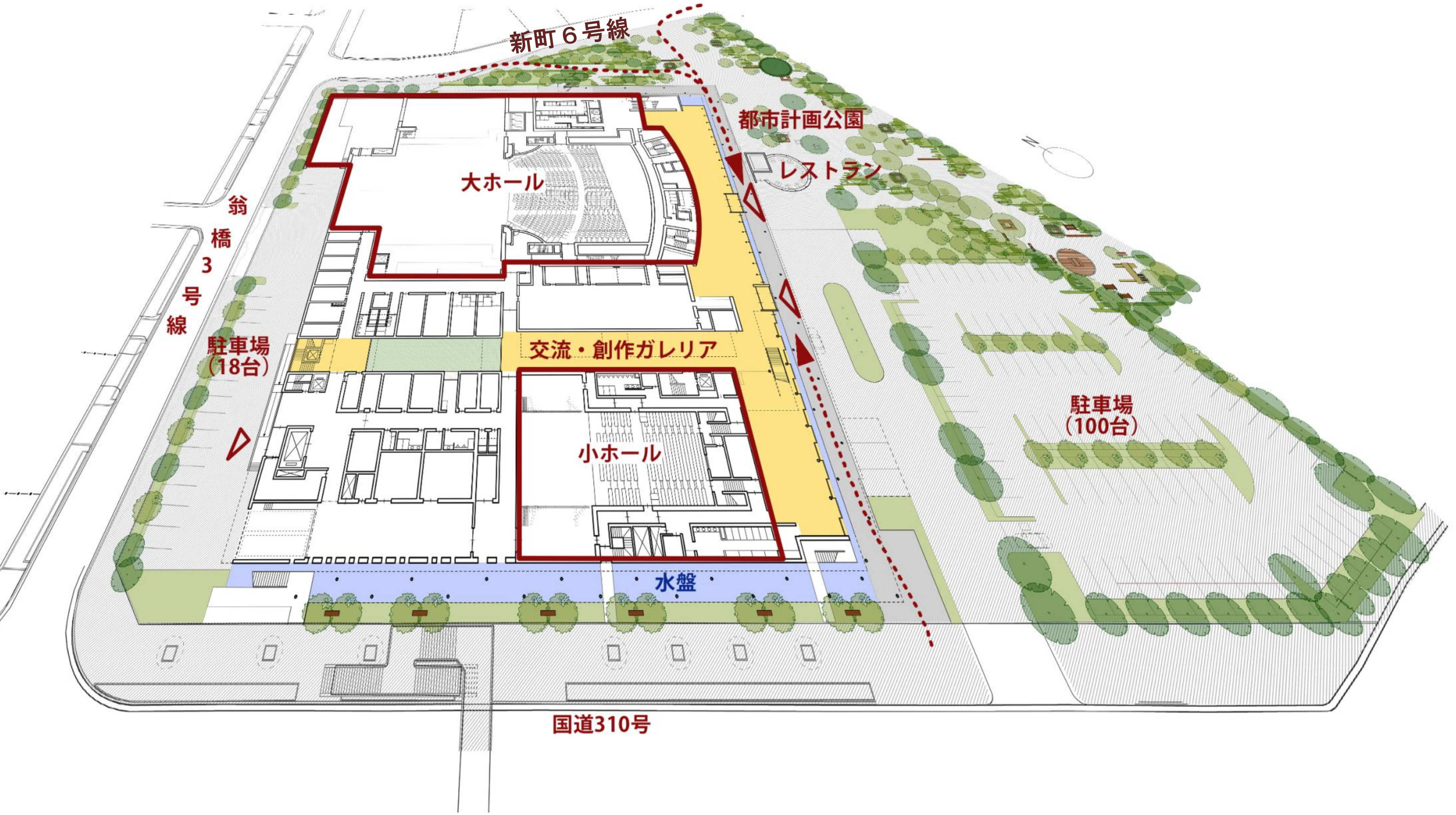
◆一般来場者の車両と搬入車両との明確な動線分離

◆駐車場の平面配置

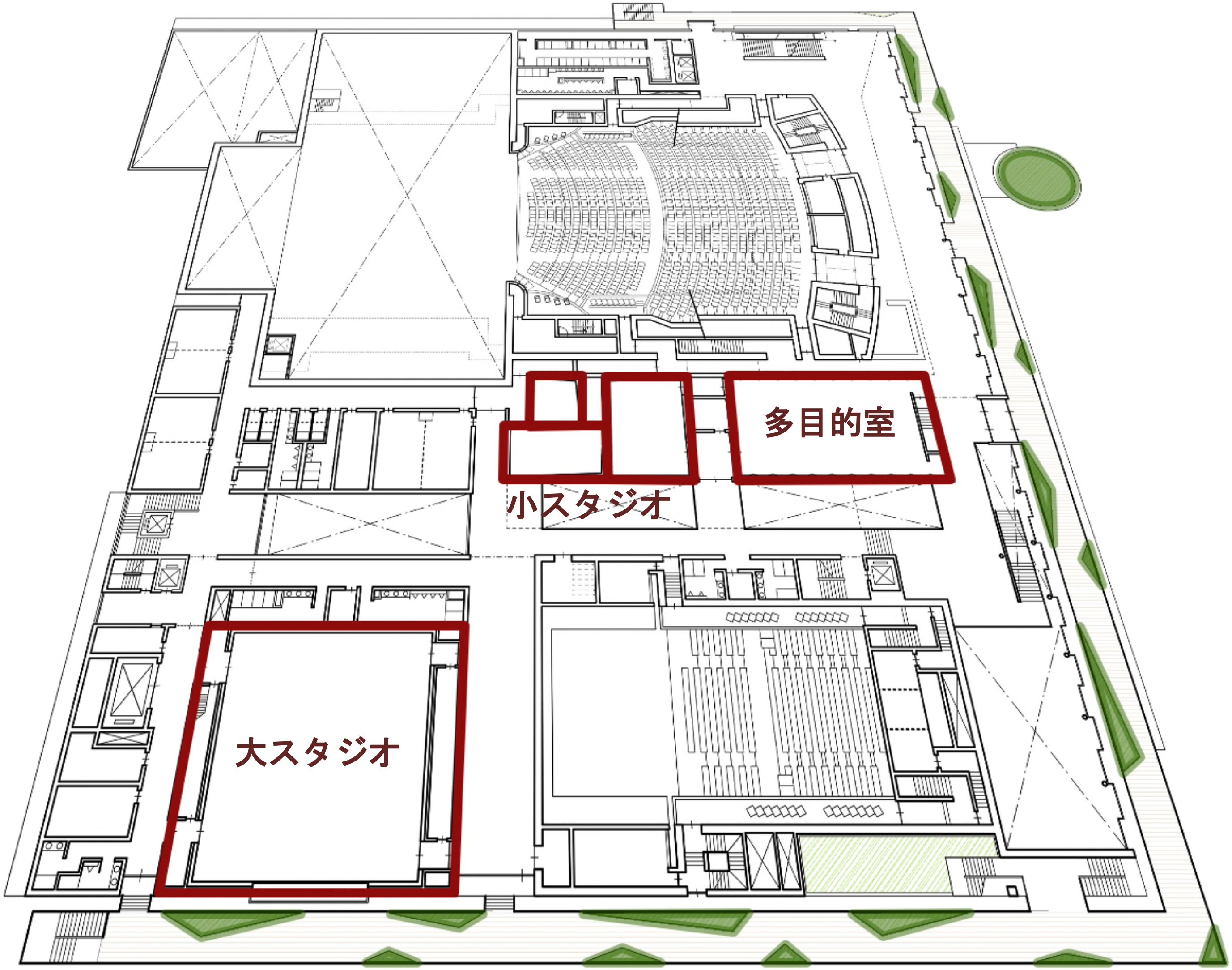
◇他の交通を妨げない搬入口の確保

◇十分な搬入スペース

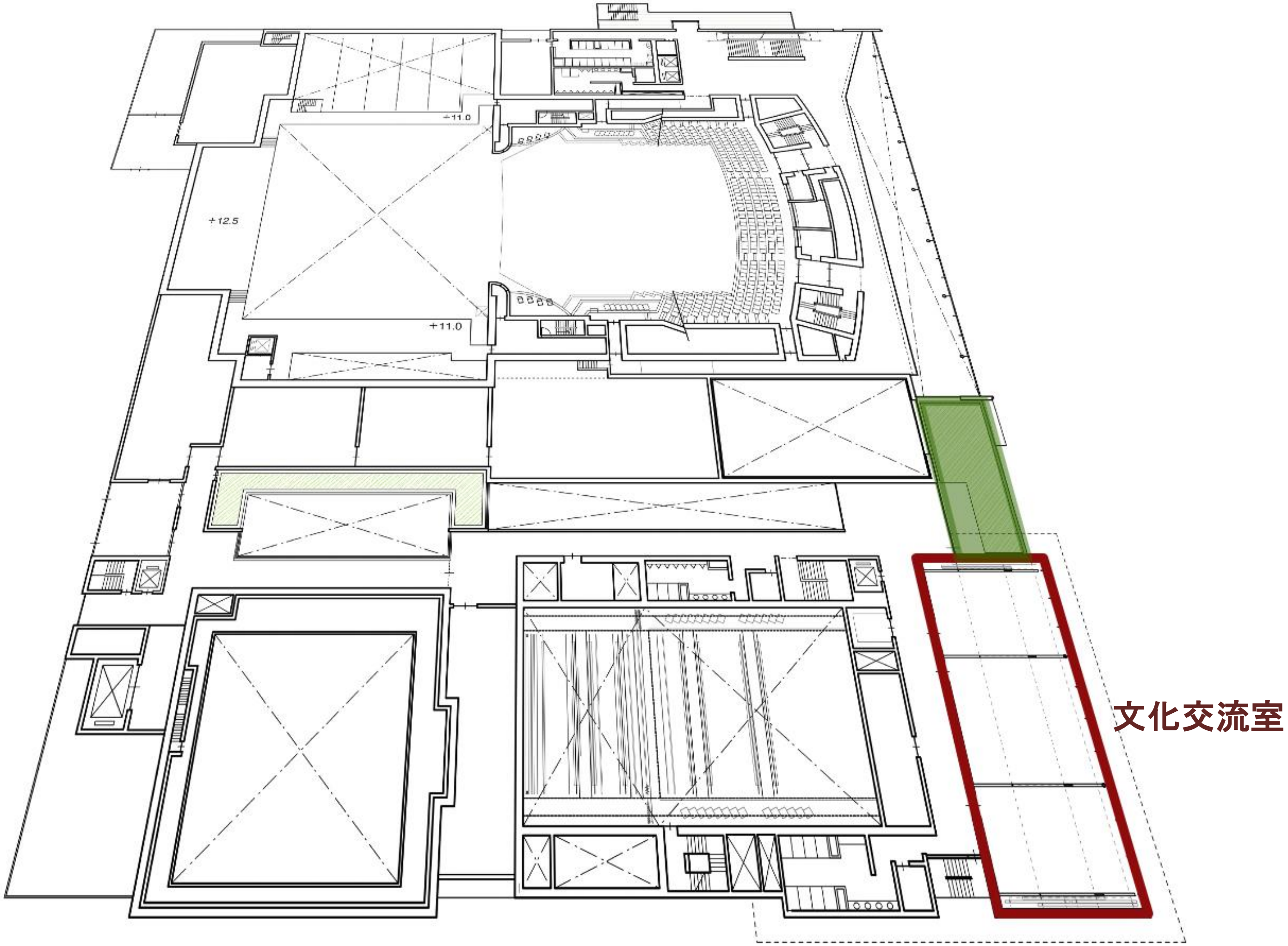
# ゾーニングイメージ（1F）



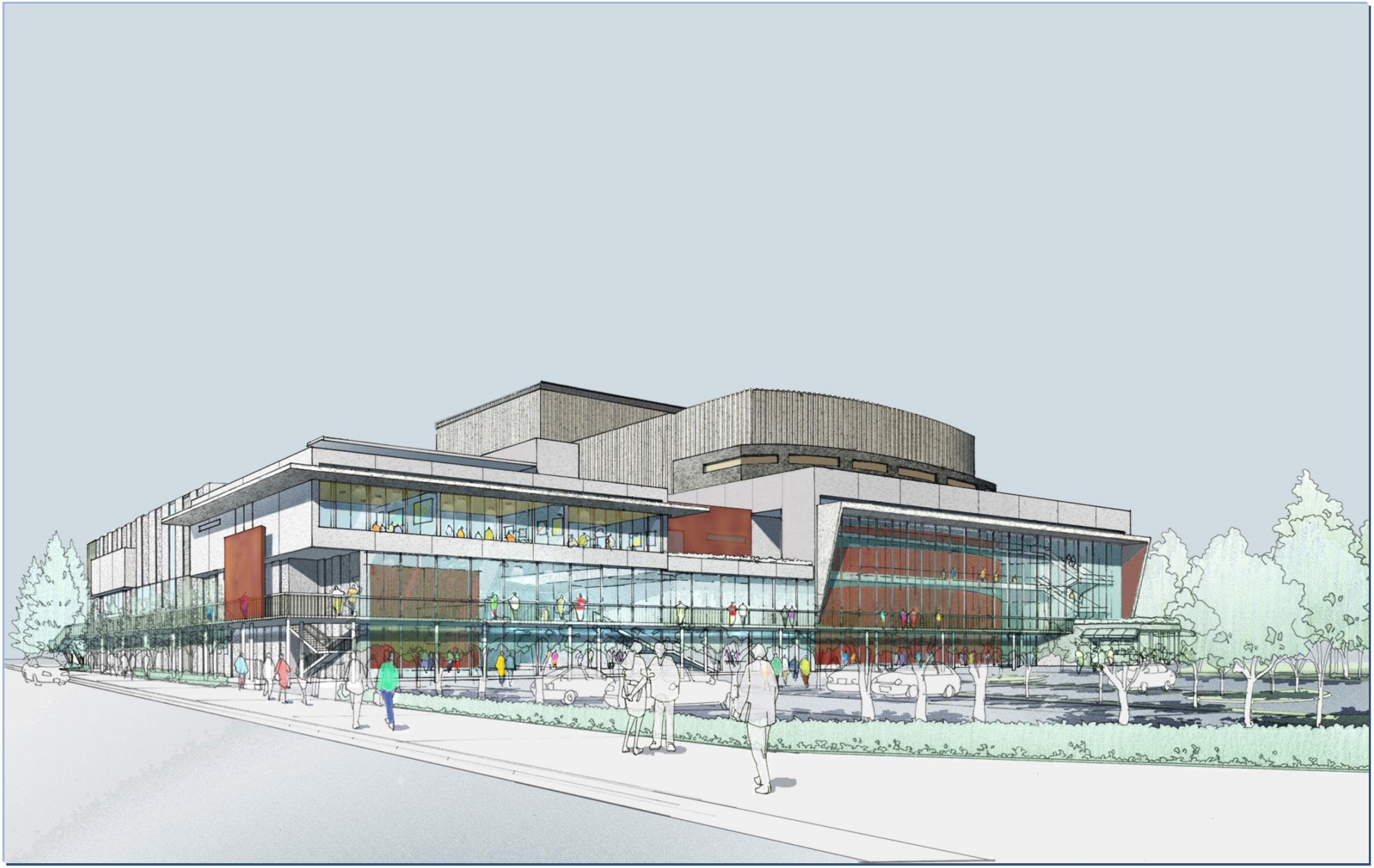
# ゾーニングイメージ（2F）



# ゾーニングイメージ（3F）

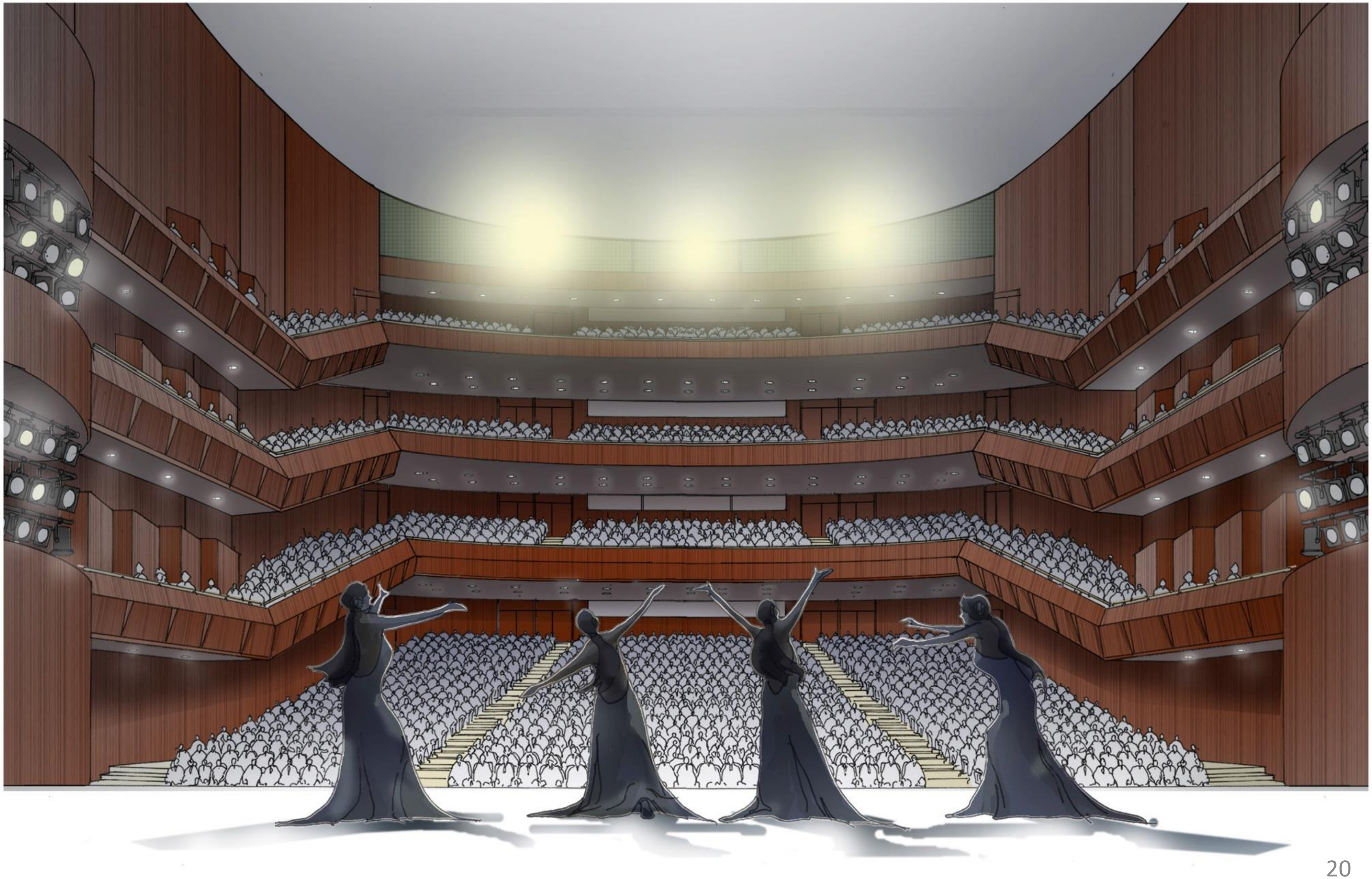


# 外観パース（南東から見たイメージ）



# 外観パース（北東から見たイメージ）

# 大ホール



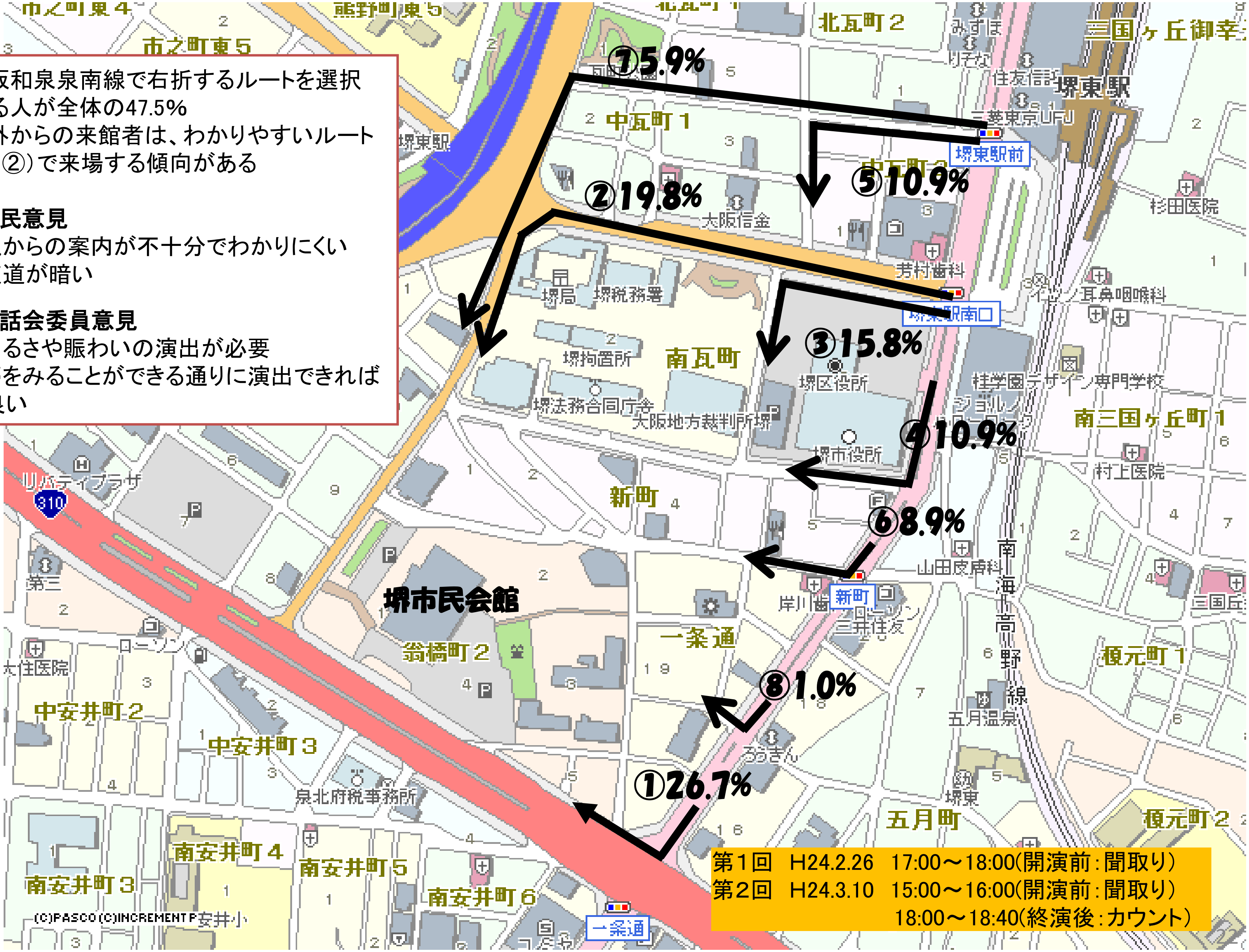
# 小ホール

# アクセスルート調査結果

・大阪和泉泉南線で右折するルートを選択する人が全体の47.5%
・市外からの来館者は、わかりやすいルート（①、②）で来場する傾向がある

◇市民意見
・駅からの案内が不十分でわかりにくい
・夜道が暗い

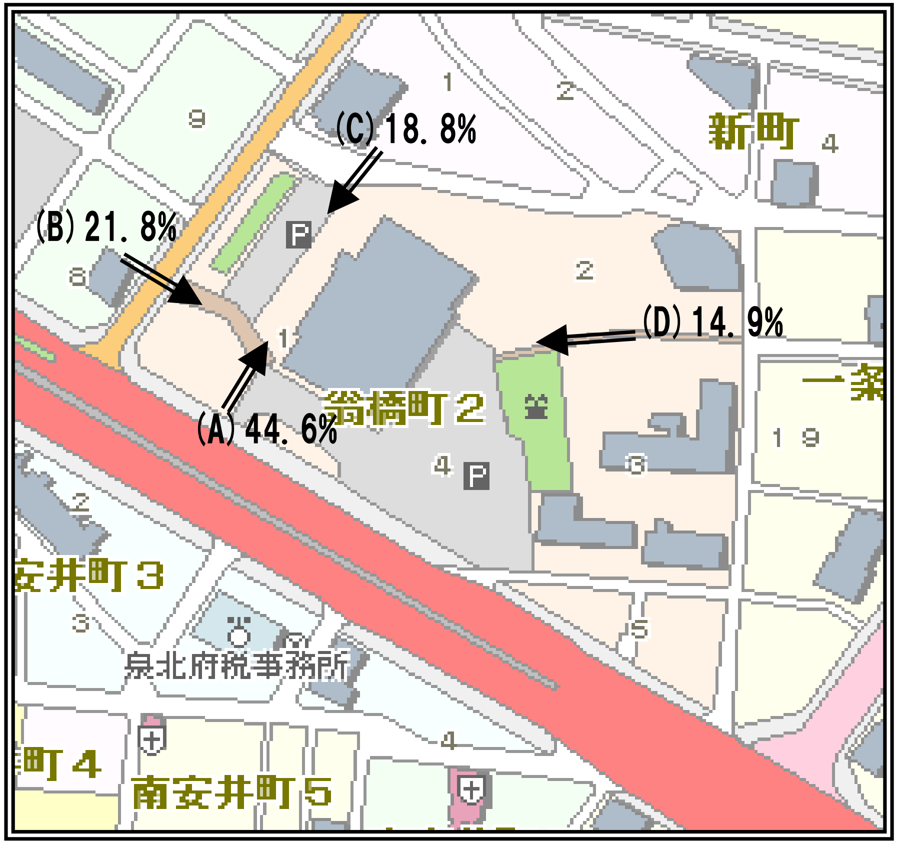
◇懇話会委員意見
・明るさや賑わいの演出が必要
・夢をみることができる通りに演出できれば良い



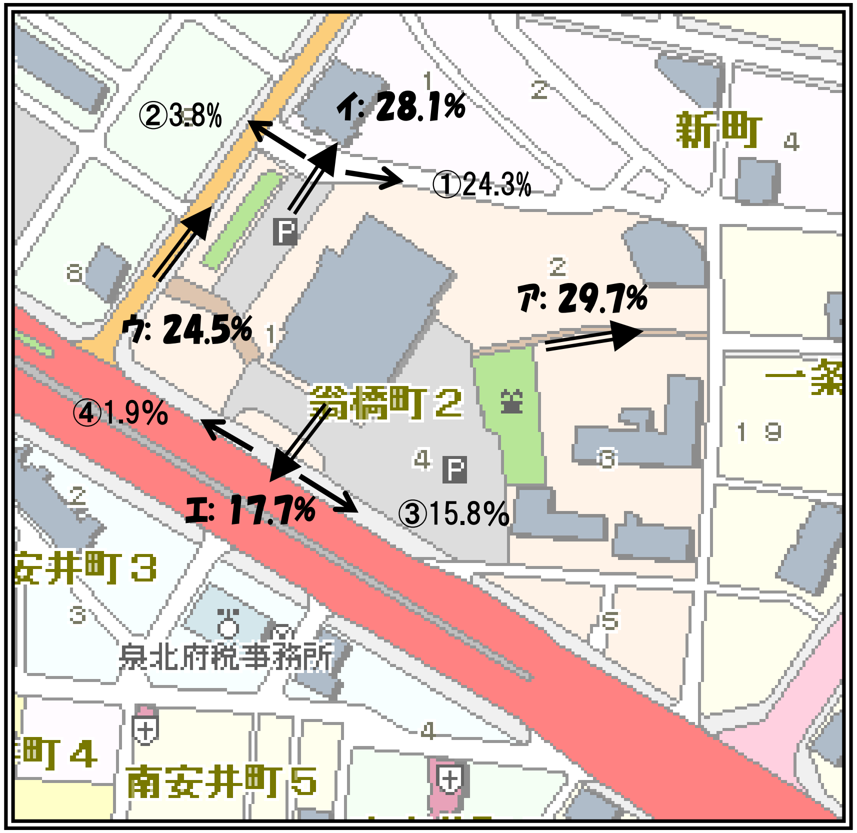

第１回　H24.2.26　17:00～18:00（開演前：聞取り）
第２回　H24.3.10　15:00～16:00（開演前：聞取り）
18:00～18:40（終演後：カウント）

# アクセスルート調査結果

**開演前の来館経路**




**終演後の退出経路**




第１回　H24.2.26　17:00～18:00(開演前：聞取り)
第２回　H24.3.10　15:00～16:00(開演前：聞取り)
18:00～18:40(終演後：カウント)

# 最寄駅（堺東駅）アクセスルート

**【ルートの考え方】**

≪来場者の利便性≫
○わかりやすい
○安全、快適で楽しい

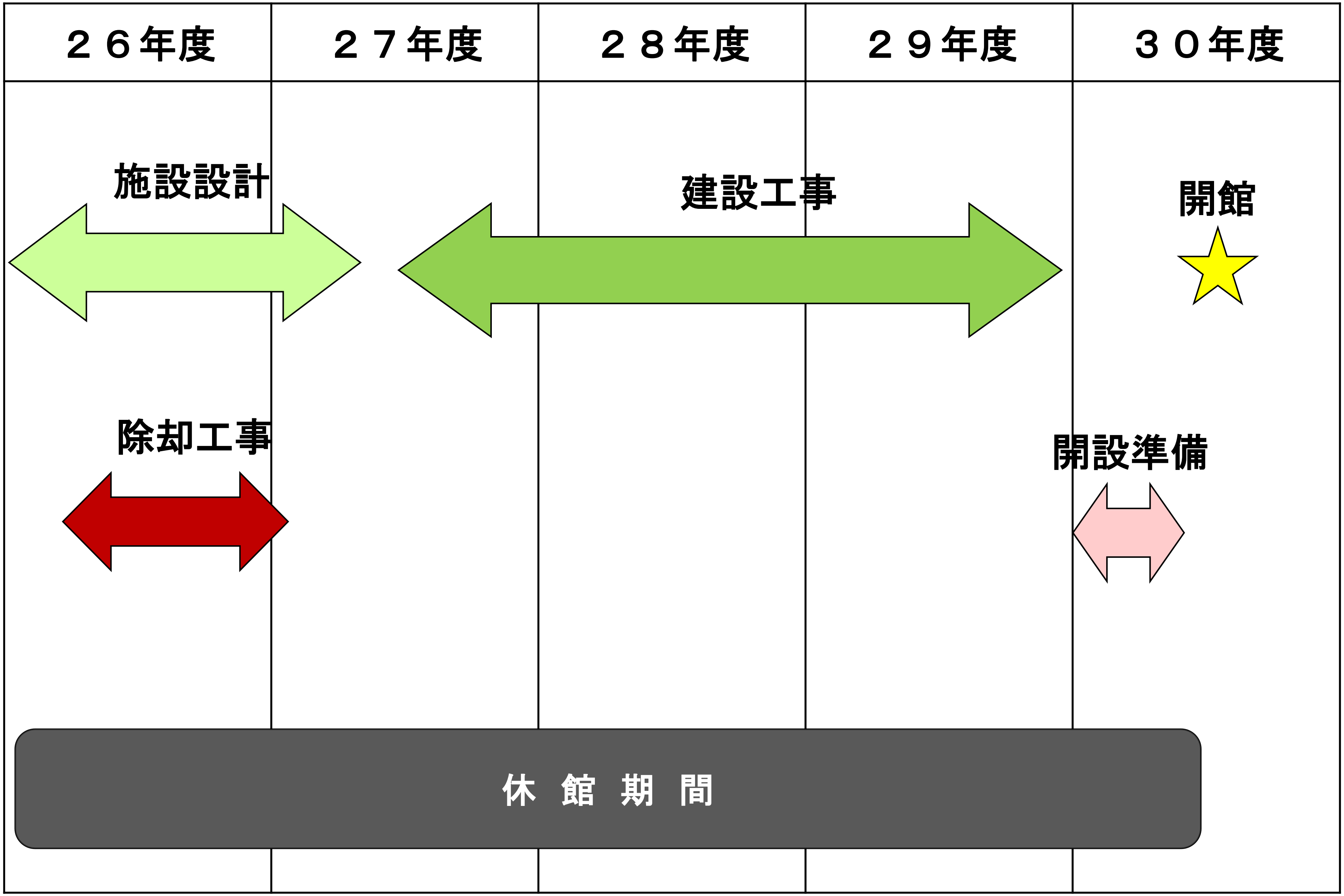
≪まちづくりの観点≫
○市民交流広場との連携
○周辺の商業機能との連携

## ＜整備イメージ＞

※イメージ例

○サイン設置
○歩道拡幅などの再整備
○バリアフリー化
○街路灯増設
○バナー設置
○カラー舗装（インターロッキング等）再整備

# 整備スケジュール（予定）



# 参考資料

# 市民会館建替えの位置付け

## 堺市マスタープラン（平成23年4月）

### 歴史文化のまち堺・魅力創造への挑戦！

— 誇りを持てるまち実現プロジェクト —

　都市魅力の創造・発信につながる文化芸術機能を強化するため、文化芸術に関する拠点施設を整備するとともに、市内の回遊性を高め、まち全体で歴史や文化、伝統を体感できる空間を形成します。

### 文化芸術機能の強化

　また、創造性に富んだ人材や活動などを誘導することで、文化芸術活動を活性化させ、市外に発信できる新たな文化創造を促します。

## 文化芸術活動を活発に行える環境づくり

市民が活動しやすい環境づくり

活動の場づくりや関係機関との連携などさまざまな形での支援を通して、多くの市民が活発に文化芸術活動を行える環境づくりを進めます。

- 市民の文化活動の促進
- 質の高い芸術性を有する文化芸術活動の振興　など

## 都市魅力を発信する文化創造のまちづくり

地域との連携・協働

まちのなかで歴史や文化、伝統を体感できる空間を形成するとともに、創造性に富んだ人材や活動を誘導し、まち全体の文化の創造力・発信力を高めます。

- フィールドミュージアム構想の推進
- アートを活用したまちの創造　など

## 文化芸術活動を支える拠点づくり

行政主体の機能整備

市民が文化芸術に親しみ、活動するうえでの、中枢となる拠点施設を整備します。

- 文化芸術活動の拠点施設の整備
- 図書館機能の充実・強化　など

# 施策2-2：文化芸術活動の振興

## 【 現状と課題 】

文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人間性の涵養に不可欠なもので、市民が心豊かな暮らしができるまちづくりを進めるためには、市民の文化芸術活動の裾野を広げていくことが重要です。

市民意識調査によると、「生涯学習や文化活動に取り組んでいる」人の割合や「堺は文化芸術活動をしやすいまちである」と答えた人の割合は、高いとは言えない状況です。

このことから、文化を創造し享受する主体は市民との視点に立ち、市民文化活動の一層の促進をはじめ、市民の芸術鑑賞機会の拡充、将来性のある芸術家の発掘育成や次世代を担う子どもに対する文化芸術体験活動の充実など、市民が身近に文化芸術に触れる環境づくりが求められています。

また、市民に優れた舞台芸術や美術などに触れる機会を提供するとともに、堺の文化を内外へ発信することができる、文化芸術活動の中枢となる施設の整備が課題となっています。

## 【 施策展開の方向性 】

市民が多様な文化芸術活動を主体的に行える環境づくりを進めるとともに、文化芸術活動の中枢的な役割を持つ文化施設の整備を進めます。

# 施策6-4：歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出

## 【 現状と課題 】

本市では、独自の観光モデルコースを設定し民間ツアーを誘致するなど、観光振興に取り組んできた結果、市内を訪れる観光ビジター数は毎年増加していますが、市内を観光やビジネスで訪れた実宿泊者数は、近隣の４政令指定都市の中でも最も少なくなっており、政令指定都市平均をも大きく下回っています。

また、本市の観光名所や文化資源は市内各所に点在しているため、その魅力が市民にも十分に浸透していません。市内観光をより充実したものにするため、輝かしい歴史・文化資源をネットワーク化し都市魅力を高め、市内外へ発信していくことが求められています。

## 【 施策展開の方向性 】

市内の歴史・文化資源を活かす情報発信力の高い拠点的な施設の整備を推進するとともに、市内の魅力ある資源をネットワーク化することで、市全体の魅力を高め、賑わいを創出します。

## 市民会館建替え事業（別掲あり）　文化部

| | |
|---|---|
| 事業概要 | 市民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞し、自らも創造・発表する機会を提供することにより堺市の文化力向上に資するとともに、新しい文化芸術の創造・交流・発信の拠点として、市民会館を建替え整備します。 |
| 達成目標 | 本市の文化力の向上<br>都市イメージや都市格の向上<br>まちの賑わい創出 |

**工程表**

| 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|---|---|---|---|---|
| 施設のあり方検討・事業計画策定・施設設計・建設着手 | | | | |

北瓦町２
三国ヶ丘御幸
堺東駅
市之町東５
市之町東６
中瓦町１
中瓦町２
瓦町公園
堺東駅前
大小路線
甲斐町東６
堺局
堺税務署
堺東駅南口
堺拘置所
南瓦町
堺区役所
堺法務合同庁舎
大阪地方裁判所堺
堺市役所
翁橋町１
瓦町１８号線
翁橋３号線
南三国ヶ丘町１
新町
新町６号線
リバティプラザ
310
一条通
新町
翁橋町２
府道大阪和泉千何線
南海高野線
榎元町１
国道310号
中安井町２
中安井町３
泉北府税事務所
五月町
榎元町２
南安井町４
南安井町５
南安井町６
南安井町３
一条通
(C)PASCO (C)INCREMENT P

# 立体に見える路面表示（例）　車両減速効果

# 立体に見える路面表示（例）　　車両減速効果